

市民建産常任委員会報告書

令和 2 年 2 月 26 日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和 2 年 2 月 4 日、2 月 6 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

市民国保課

市民係より、令和元年 12 月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カードの交付枚数とコンビニ交付サービスの利用実績、証明書交付部数について報告がありました。電話予約等による住民票交付サービスの変更については、本サービスは現在、電話またはインターネット（ふくおか電子申請サービス）で予約した住民票を市役所警備員室とファミリーマート JR 古賀駅店において受取可能としているが、令和 2 年 6 月 1 日より、受取場所を市役所警備員室のみに変更すること。また、その変更理由として、平成 29 年 4 月よりマイナンバーカードを使用した住民票等のコンビニ交付サービスが開始され、全国のコンビニで休日・早朝・深夜においても割安の手数料で証明書の取得が可能となっていること、同店舗での受取が減少傾向であること等の報告がありました。

国保係より、令和元年 12 月末の国民健康保険加入世帯数、被保険者数について報告がありました。令和 2 年度国保事業費納付金については、令和 2 年度の県への納付金は、15 億 3,145 万 2,973 円と昨年度と比較して、1 億 419 万 5,636 円の増となっているが、令和 2 年度の国民健康保険税については、平成 30 年度の国保制度改革時に、特段の事情がない限り、原則 3 年ごとに検討する方針としていることもあり、令和 2 年度までは現在の税率で据え置く予定との報告がありました。

年金・医療係より、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障害者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数について報告がありました。

委員より、個人番号カードについて、全ての古賀市民にカードが行き渡るとすれば何年先を見越しており、交付における対策はあるのか、との問いに、国の見込みとしては、令和 4 年度 3 月中にほとんどの方がカードを所有している状況を想定しており、市としても、窓口で PR を行ったり、地域に赴いたりしている。また、今年度は公務員の積極的な取得が推進されていたが、今後は他の保険者においても、カードの取得を促していく動きがあり、古賀市においてもカードの増が見込まれるとのこと。

収納管理課

収納管理係より、平成 31 年度市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の 12 末日現在の収納状況、平成 31 年度滞納処分状況、滞納繰越調定者数について報告がありました。

委員から、各税の滞納繰越調定者数は重複する滞納者がいると思うが、その滞納者全体の実人員は、との問いに、毎月の集計情報から、市税と国民健康保険税の滞納者数約 4,000 人の内、約

1,500～1,600 人が滞納繰越分の滞納者になるとのこと。これに対して委員から、滞納繰越となると徴収率が上がらない実情もあることから、現年度分の徴収を徹底してほしいとの要望が挙げられた。

ファイナンシャルプランナー（以下、FP）相談の件数が増え、効果も上がっていると思うが、FP 相談件数を増やすことはできないか、との問いに、FP 相談対応は、毎月 1 回、1 回につき最大 10 人まで受け付けているが、不都合が生じ、キャンセルする方もおられ、全てが埋まっている状況ではないことから、相談対応状況に応じて改めて検討していきたいとのこと。

窓口におけるプライバシーの配慮についての考えは、との問いに、現在のカウンターではプライバシーがなかなか保てない状況であることから、来年度予算において、大きめの仕切りを設け、現状よりは改善していきたいとのこと。

環境課

環境整備係より、ぐりんぐりん古賀（古賀市環境市民会議）の取組、飼い主のいない猫に関する取組について報告がありました。生物多様性古賀戦略の推進については、12 月に製本が完成したこと、また、古賀市の豊かな自然と生物多様性について知ってもらうことからスタートすべく、今年度 2 回目の生き物観察会を 3 月 29 日に千鳥ヶ池公園で開催予定との報告がありました。

資源循環推進係より、3R に関する取組、資源化率の向上についてからは、市役所内に設置している資源回収ボックスを環境課横に移設したとの報告がありました。

海津木苑より、海津木苑処理状況、海津木苑整備工事、海津木苑施設等啓発について報告がありました。次期し尿処理施設については、現在、古賀市・福津市地域循環型社会形成推進地域計画の変更申請を行い、変更申請承認の決定通知に関する事務手続を進めていること、また、今後のスケジュールとして、令和 2 年度に既存管理棟移設工事等、令和 3 年度に建設工事に着手、そして令和 4 年度完了を予定しており、完了後に試運転・性能試験を行ってから、正式に供用開始の予定との報告がありました。

委員より、生物多様性古賀戦略の取組をいかに広げ、市民へ啓発することが課題になると思うが、何かプランはあるか、との問いに、市内の教育機関、高校、市民活動団体と連携し、年間を通したイベントを開催する計画を検討しているとのこと。

温暖化対策について、将来に対しての古賀市の目標の設定はどのように考えているか、との問いに、市の事務事業に関する目標については「古賀市地球温暖化対策実行計画事務事業編」を、市域全域に関する目標については「古賀市地球温暖化対策実行計画区域施策編」を計画策定しており、それらに基づき、取組を進めているとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係より、人権教育・啓発事業、人権相談事業、人権関係団体活動推進事業について報告がありました。パートナーシップ宣誓制度からは、「古賀市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」を定めるに至った背景について、現在の日本では、法令上、結婚は男女でないと認められておらず、その中で性的マイノリティの方が社会生活について、さまざまな困難に直面し、偏見や差別等で苦しんでおられる現状を鑑み、誰もがその人らしく人生のパートナーとして幸せな生活を送ることができる、いのち輝くまちをめざし、社会情勢の変化等に対応しやすいように要綱で定める考えであるとの報告がありました。

委員より、パートナーシップと同性婚の違いによる、戸籍や民法上のパートナーシップの取扱

い方、遺産相続等の権利問題についての違いは何か、との問いに、遺産相続等の法律的なものは、パートナーシップ宣誓を行うことで、それらが有効になることはない。あくまでも、市がパートナーとして認めるという心の問題や家を借りる際に不動産業者に理解を求めたり、医療機関における手術の同意を得られるように理解を求めたりすることを想定しているとのこと。

市税課

市民税係より、税の申告についてからは、香椎税務署での所得税の確定申告は、2月17日から3月16日まで、古賀市役所での申告は、2月17日から3月13日まで申告会場が設けられるとの報告がありました。

委員から、申告の時期が来たので市税課の職員に尋ねたら、申告用紙がなかったため、申告が始まる1週間ぐらい前から準備をしていただけると助かるとの意見に、香椎税務署からの資料受領が概ね1月の中旬であり、その後にお渡しができるよう準備をし、毎年1月の第2週から第3週に設置をするため、その点については了承いただきたいとのこと。

建設産業部

建設課

土木係より、主要な事業の進捗について、西鉄宮地岳線跡地について報告がありました。

管理係より、県事業で工事内容が100万円以上の事業13箇所、河川の浚渫予定箇所及び検討箇所について報告がありました。

地籍調査係より、地籍調査事業の進捗について報告がありました。

委員より、西鉄宮地岳線跡地について、中川区は詳細設計に進んでよいということだが、具体的な詳細設計の計画はどのように進み、いつ頃になるのか、また、他の地区の進め方は、との問いに、詳細設計については、令和2年度に中川区の詳細設計を行う予定であり、1年程度を要しながら設計を積み上げていく。また、他にも了解を得られた区があれば、予算の状況に応じて、設計に加えていきたいとのこと。

令和元年になって県事業の工事が若干増えていると思うが以前と比較した状況は、との問いに、河川中心に浚渫や除草等の追加発注分を含めたところで工事が増えたと認識しているとのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係より、第2回上下水道事業経営等審議会について報告がありました。フリーアドレスデスクの実施状況についてからは、フリーアドレスデスクの成果測定を目的とした職員対象のアンケート結果において、これまでと比較して、フリーアドレスデスクに対する高い満足度や課題への即時対応を行っているとの報告がありました。

上水道係より、平成31年度の工事箇所について報告がありました。

下水道係より、平成31年度の工事箇所について報告がありました。

委員より、古賀市人口ビジョン及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における、基本的施策の具体的内容等について、他課は重要目標達成指標が記載されているが、上下水道課に関して、そのような記載がない理由は、との問いに、水道事業としては、現在策定中の経営戦略において目標を明確にしたいと考えている。経営戦略が最優先計画であると考えた上で、指標公開は控えたとのこと。

農林振興課

農林振興係より、荒廃森林整備事業について報告がありました。有害鳥獣対策事業については、罠による鹿の誘引捕獲において、令和2年1月28日時点での捕獲頭数が94頭との報告がありました。

農政係より、農業委員会運営事務（荒廃農地関連）からは、農地パトロールによる荒廃農地・違反転用調査結果について、人・農地プランの実質化の取組についてからは、地元農区への説明会実施状況について報告がありました。

農林土木係より、農業用施設改良事業について、薦野清滝地区基盤整備事業について報告がありました。

その他として、農業委員会総会議事録の個人情報に関する事案について、森林環境譲与税基金条例の制定について、農家直売！軽トラ市について報告がありました。

委員より、農地の違反転用はどのように行われているか、また、それに対する処置・対応は、との問いに、違反転用とは、農地、田んぼ、畑の土地に農地以外として使用しているという考えの下、建物が建っていたり、駐車場のような砂利敷きになっていたりとその状況は様々である。処置・対応としては、土地所有者に対して、農業委員会より文書を送付し、今後は是正する考えがあるのかどうかを含めて、アンケートをとっているとのこと。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）で、コスモス館の売上げを5億と記載しているが、その理由と何か手だてがあるのか、との問いに、売上げ・来客者数ともに減少を続けているが古賀グリーンパーク周辺整備と合わせ、機能強化したいという思いもあり、コスモス広場利用組合との協議等を踏まえ、当面現実的な目標として記載した。コスモス広場の機能強化という市長方針を打ち出した後に、庁内においてどのような方向がよいのか検討し、同組合からの具体的な改善の経過や市に対する要望等を踏まえ、改善の方法を考えていきたいとのこと。

商工政策課

企業支援係より、無料職業紹介所について報告がありました。古賀市企業立地促進条例に基づく事前協議等についてからは、企業が立地を検討する際、土地の取得や工場の建設にとどまらず、インフラ整備や従業員の通勤といった公共交通など、まちづくり全般にわたる課題への対応が必要であり、民間主導の産業用地の創出や企業訪問活動など、従来の企業誘致策にとどまらず、古賀市の魅力を高めるまちづくりと一体となった産業力強化策を必要とする観点から、庁内における企業誘致推進体制の見直しを今年度中に方針を定め、新体制を決定するとの報告がありました。

商業観光係より、消費生活センターの相談受付状況について、なの花まつりの開催について報告がありました。まつり古賀の開催結果についてからは、今回の開催にあたって、ニビシ醤油株式会社が創業100周年ということもあり、食のまち古賀をPRできる絶好の機会として捉え、同社とコラボレーションした特徴ある内容としたことについて報告がありました。

物産振興係より、古賀市ふるさと応援寄附について報告がありました。

その他として、古賀市勤労者研修センター設置条例の廃止を令和2年第1回定例会において提案予定と報告していたが、利用者や周辺企業に対し、より説明を尽くす必要があることから、今回は見送り、改めて説明内容や企業の意見等を市民建産常任委員会等で報告するとの報告がありました。

委員より、ふるさと応援寄附について、昨年度12月と比較してどのような状況か、との問いに、比較として、件数は118%、金額は95%であるとのこと。

都市計画課

都市計画係より、玄望園土地区画整理事業について報告がありました。古賀市都市計画マスタープランの改訂についてからは、11月18日に古賀市都市計画審議会を開催し、改訂案について意見をいただき、11月21日から12月20日までパブリック・コメントを実施した。公聴会での公述を希望する方が1人あり、1月16日に公聴会を実施したとの報告がありました。

開発指導係より、屋外広告物未申請調査、ブロック塀等撤去費補助金について報告がありました。

公園・緑地係より、公園工事の発注状況、平成31年度スポーツ振興くじ助成金事業について報告がありました。市内運動施設の使用料及び減免基準の見直しについてからは、利用者を対象に説明会を実施したこと、説明会には、青少年団体やスポーツ協会、行政区など関係者合計76団体、111人が出席し、様々な意見や指摘があったことを踏まえ、要望のあった資料などを準備した上で、再度、説明会を開催するとの報告がありました。

古賀駅周辺開発室開発推進係より、平成31年度発注業務委託について報告がありました。古賀東区説明会についてからは、説明会に47人が参加し、開発に関する否定的な意見は出なかったこと、また、事業の概要説明の他、JR古賀駅東口周辺の土地・建物の利用状況を把握するためにアンケートを実施する旨を説明したことについて報告がありました。

その他として、観光・物産・情報発信の拠点形成プロジェクトチームについて、企業誘致に当たって、上水・井水・下水・都市ガスといった都市施設についての問い合わせが非常に多く、その中でも地下水の状況を把握しておかなければ、積極的な誘致を働きかけることは難しいところであるが、当該地域については、掘らなければ状況が分からないことから、来年度に地下水の調査を実施する方向で検討を進めているとの報告がありました。

委員より、JR古賀駅東口周辺整備について、古賀東区の説明会で、市長から非常に前向きな発言があったと思うが、担当課として、駅舎の関係と西側の環境をどのように考えているか、との問いに、駅舎と西側との関係については、当然、古賀駅周辺開発というところで全体を見て考えている。西側と東側の人の行き来ということも、しっかり考えており、西側構想についても、今後検討していきたいと考えている。また、駅舎については、JRに負担を求める内容になっていくかと思うので、駅東周辺においてこのような構想を持っていることをJRに理解してもらうことを考えているとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。